

CODE V Plot Viewer

CODE V のインストールしていないコンピュータでも CODE V のグラフィックを閲覧できます。

閲覧できるファイルは .PLT フォーマット、.RAS フォーマット、.V3D フォーマットです。

- .PLT フォーマット :
 - [レンズの描画] (VIW) オプションで描画されるモデルの断面図
 - [横収差曲線] (RIM)、[縦収差曲線] (FIE) のグラフ
 - [スポットダイアグラム] (SPO)、[MTF] のプロット
 - 各種[解析]オプションの結果プロット (主にグラフや鳥瞰図)
 - [ユーザグラフィックス] (UGR) のプロット
- .RAS フォーマット :
 - [ビーム伝播解析] (BPR) オプションの結果 (カラー表示)
 - [照明解析] (LUM) オプションの結果 (カラー表示)
 - [INT ファイルの表示] (DIS INT) のカラー表示
- .V3D フォーマット :
 - [3D 描画] (V3D) オプションで描画される 3D モデル

閲覧するにはスタンドアロンプログラム、CODE V Plot Viewer を PC にインストールしてください。

“CVPlotViewFiles.zip” (22.4MB)

以下のファイルが圧縮されています。

“CVPlotView.zip” :

ODE V Plot Viewer 本体

“CODEV_Runtime_DLL.zip” :

CODE V Plot Viewer を起動するために必要なランタイム DLL をインストールするためのファイル群

“CV_Localization.reg” :

CODE V Plot Viewer を起動するために必要なシステム変数を登録するファイル

インストール手順は以下のとおりです。

1. “CVPlotViewFiles.zip” を解凍します。
2. 圧縮されていた “CVPlotView.zip” , “CODEV_Runtime_DLL.zip” を解凍します。

このとき解凍したディレクトリ “CVPlotView” と “CODEV_Runtime_DLL” の保存ディレクトリを同じにする必要はありません。

3. “CODEV_Runtime_DLL.zip” を解凍した “cvsetup” ディレクトリの “cd_testcase” サブディレクトリの中の “setup.exe” をダブルクリックし、ウィザードの指示に従い、マシンにランタイムライブラリをインストールします。

このとき、場合によっては再起動を求められます。そのときは再起動してください。

4. 必要なシステム変数を登録するため “CV_Localization.reg” をダブルクリックします

5. “CVPlotView.zip” を解凍した “CVPlotView” ディレクトリの “cvplotview” サブディレクトリの中の “CVPlotView.exe” をダブルクリックすると、CODE V plot Viewer アプリケーションを実行できます。

これで CODE V のグラフィックファイル (.plt, .ras, .v3d, etc.) を見ることができます。

Viewer を簡単に起動するために “CVPlotView.exe” のショートカットをデスクトップに作成することをお勧めします。